

「スラムダンクに学ぶ」

⑤

辻秀一さん(スポーツ)の独自論

美しい生き方から何を学べるのか。バスケットで、どんなに3ポイントが入っても、社会には持って行けないです。でも、バスケットをやることによって美しい生き方、ライフスキルを学んでいった方は、人生に持って行くことができ、これはとても大事ですね。

(米国の元プロバスケットボール選手の)マイケル・ジョーダン

「世界中でバスケットボールをやっている人に、もっとうまくなるために、一言だけ言ってくださいますか」という質問。それと、「今後の人生に、バスケットを通して学んで役に立つことは何だと思えますか」という質問。例えば、こういう質問です。「バスケットボールを通して、一番学んだものはなんですか?」という質問。もう一つは「世界中の子どもたちに一番伝えたことと努力すること、これをバスケットボールを通して学びました。バスケットボールがうまくなるために必

要なことは、ジャンプ力でも能力でもない。人を敬うことやどんなことにも努力できることがもっとも大事である。バスケットボールをしてる人に一言だけ言えるとしたら、ちゃんと人を敬いなからやっているのか」ということを言っています。

「それが、最もうまくなるために必要なことなんだ。こういう、人を敬うことだったり、努力すること、一生懸命やることを軽視している人、絶対うまくならないですよ。よく、こういうことあるじゃないですか。「こいつ、一

生懸命やったらうまくなるのに」。実は一生懸命やる能力がないんです。これ、左のドリブルが出来ないのと同じぐらいです。

つまり、左のドリブルがうまくなるために、一生懸命練習することと大事にしていないんです。でも、それを大事にするってなれば、そのライフスキルは身に付きます。

マイケル・ジョーダンは、シュートがうまく入ることよりも、3ポイントを豊かにしない。そして、そういうことを考えているだけじゃない。どんなに練習して

できないし、インターハイにもいけないし、うまくないんです。軽視しているから、そういうことを。つまり、そういう心の力ということも大事にしていかないと、結局はうまくいかない。彼らの見た目だけで「やつらは違うんだ」と言ってる人、たくさんいると思います。でも、能力を持っていても、そういうライフスキルを大事にしてなかったことで、世の中に出れない人、いっぱいいるんですよ。

技術的な能力っていうのは、遺伝的かどうか。限界があるかもしれない。遺伝的な背高がないんですよ。

生き方を学ぶ大切さ



マイケル・ジョーダンの例について説明する

それと、人を敬うことと努力すること、これをバスケットボールを通して学びました。バスケットボールがうまくなるために必

要なことは、ジャンプ力でも能力でもない。人を敬うことやどんなことにも努力できることがもっとも大事である。バスケットボールをしてる人に一言だけ言えるとしたら、ちゃんと人を敬いなからやっているのか」ということを言っています。

「それが、最もうまくなるために必要なことなんだ。こういう、人を敬うことだったり、努力すること、一生懸命やることを軽視している人、絶対うまくならないですよ。よく、こういうことあるじゃないですか。「こいつ、一

生懸命やったらうまくなるのに」。実は一生懸命やる能力がないんです。これ、左のドリブルが出来ないのと同じぐらいです。